



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 12月号 (No.15)

令和2年12月23日発行

With (ウィズ) コロナの2学期を振り返って



わひわひ広場「あなたとわたしのシンボルツリー」(小学部・糸小4年共同作品)

今日は2学期の終業式、明日から冬休みに入ります。今学期を振り返ってみると、1学期のコロナ対応に右往左往していた状況とは異なり、それでも新型コロナウイルスの感染予防策をとりながら、予定していた2学期の教育活動を行うことができたと言えるでしょう。

学習活動では、文化祭のときに発表した図工・美術作品、音楽やダンスなどをご覧いただいたと思いますが、いつもの、いやそれ以上の学びの成果が表れていました。子どもたちが日々の学習を積み重ねによって、学習内容を自分のものとして身に付けたからこそそのものです。糸魚川小学校との交流及び共同学習では、糸小4年生を中心とした形態になり、より深く心が通い合う活動ができました。校外学習でも、大町商店街やフォッサマグナ・ミュージアム、高浪の池など、市内の魅力ある場所で心と体を働かせて学習することができました。行事関係では、文化祭をはじめ、小学部・中学部の修学旅行、フリー参観やオープンスクールも、「ウィズ コロナ」を踏まえた対応で、例年にも増して充実したものとなりました。これらは、学校と家庭の協力と多くの方々のご支援をいただいた賜物です。

3学期も同様に、ひすいっ子、そして学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

今年もサンタがやってきた！Part2

～糸魚川ライオンズクラブの皆さん ありがとう！～



12月23日（水）の終業式の後、「メリー・クリスマス！」サンタさん、トナカイさんが体育館に登場しました。「そり」には、たくさんのプレゼントが積まれています。子どもたちは大歓声！「サンタだ！」「トナカイだ！」「プレゼントだ！」満面の笑顔で、迎え入れました。

毎年、糸魚川ライオンズクラブの皆さんがボランティア活動の一環として当校を訪問し、子どもたちにクリスマスの楽しい時間をプレゼントしてくれています。今年は、トランペットとギターによる『クリスマス・ソングの演奏』でした。ジングルベルやアンパンマンなどの曲に合わせて、子どもたちは歌ったり、鈴を鳴らしたりしました。また、サンタさんとトナカイさんのダンスに手拍子で応援をしました。温かく楽しい雰囲気は正に「クリスマス！サンタ・ワールド」でした。プレゼント・タイムは、はじめに12月1日にいただいた「クリスマス・ツリー」の伝達です。サンタさん（糸魚川ライオンズクラブの山本会長様）から小・中代表の児童生徒が受け取りました。次に、子どもたち一人一人が長靴に入ったお菓子をいただきました。みんな大喜びでした。お礼として「赤鼻のトナカイ」を歌ってお返しをしました。最後はみんなで記念写真を撮りました。思い思いの決めのポーズをとって“パチリ！”

糸魚川ライオンズクラブの皆さんのおかげで、2日早いクリスマスを楽しむことができました。子どもたちへのご支援に感謝、感激です。

